

## 06 ベトナム南部郡病院における消化器内視鏡サービスの改善

国立健康危機管理研究機構 国際医療協力局  
 国立国際医療センター 内視鏡センター

**事業名:**ベトナム南部郡病院における消化器内視鏡サービスの改善

**実施主体:**国立健康危機管理研究機構 国際医療協力局、

国立国際医療センター 内視鏡センター

**対象国:**ベトナム社会主義共和国

**対象医療技術等:**①上部消化器内視鏡

### 事業の背景

ベトナムでは非感染性疾患の増加が著しく(2021年死亡原因:非感染性疾患78.2%)、がんは心血管疾患に続く死亡原因である。消化器内視鏡はがんの早期発見にのみならず消化器系疾患の治療方針を決める診断や検査に有用であり、ベトナム公的医療機関の基礎的な入院治療・救急医療を担う郡病院でも内視鏡診断・治療技術提供は国の指針で定められている。他方、財源・人的資源の制約から郡病院(公立一次医療)の内視鏡サービスは最小限のスタッフと限られた機材・施設で支えられており、内視鏡サービスの質や機材稼働率が担保されておらず、潜在的な患者ニーズに対応していない。

### 事業の目的

本事業では、郡病院レベルの上部消化管内視鏡サービスの質の担保、機材稼働率・症例数の改善を目的とし、研修教材の整備、研修実施をベトナム消化器内視鏡学会(VFDE)とともに行うことで、VFDEおよび郡病院を管轄する省病院が、管轄内の郡病院を支援・指導する能力の強化を図り、事業終了後は自律的に質の担保された消化器内視鏡サービスが郡病院で地域の住民に提供される体制整備を行う。

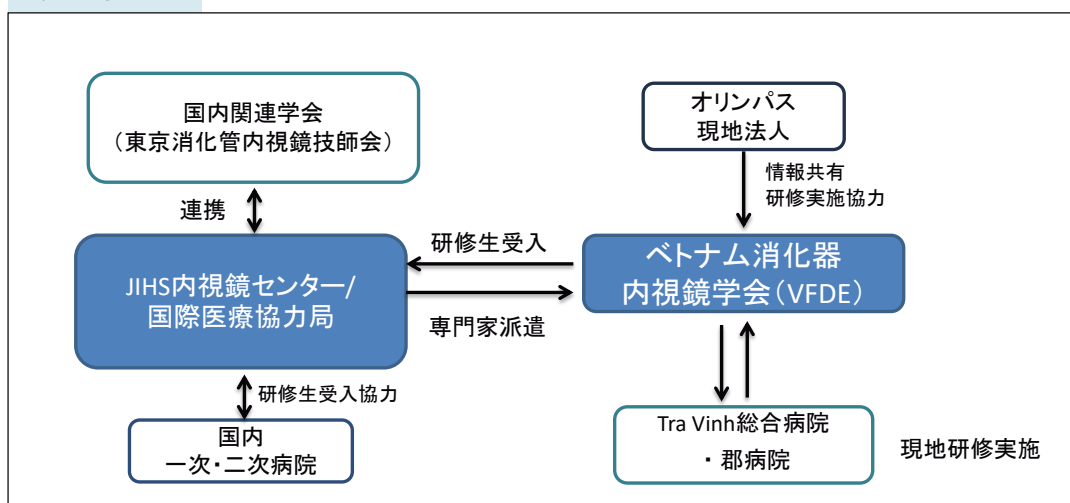
ベトナムでは非感染性疾患の増加が著しく(2021年死亡原因:非感染性疾患78.2%)、がんは心血管疾患に続く死亡原因となっています。消化器内視鏡は、がんの早期発見にのみならず消化器系疾患の治療方針を決める診断や検査に有用であり、ベトナム公的医療機関の基礎的な入院治療・救急医療を担う郡病院でも、内視鏡診断・治療技術提供は国の指針で定められています。しかし、財源・人的資源の制約からベトナムの一次医療を担う公立病院、郡病院の内視鏡サービスは、最小限のスタッフと限られた機材・施設で支えられており、内視鏡サービスの質や機材稼働率が担保されておらず、潜在的な患者ニーズに対応していないのが現状です。

郡病院レベルの上部消化管内視鏡サービスの質の担保、機材稼働率・症例数の改善を目指し、本事業では、研修教材の整備、研修実施をベトナム消化器内視鏡学会(VFDE)とともに行うことで、VFDEおよび郡病院を管轄する省病院が、管轄内の郡病院を支援・指導する能力を強化させ、事業終了後は自律的に質の担保された消化器内視鏡サービスが郡病院で地域の住民に提供されるよう体制整備を行います。

## 06 ベトナム南部郡病院における消化器内視鏡サービスの改善

国立健康危機管理研究機構 国際医療協力局  
 国立国際医療センター 内視鏡センター

## 実施体制



## 研修目標

ベトナム消化器内視鏡学会、Tra Vinh総合病院とともに、Tra Vinh省内郡病院スタッフを対象に、1)内視鏡診療における感染管理、2)安心安全な基本的診断治療技術の向上、3)ネットワーク構築のための研修、人材育成を行う。そのための指導者養成も同地域で実施する。

本事業を実施するにあたり、ベトナム消化器内視鏡学会、Tra Vinh 総合病院がかかわる形で Tra Vinh 省内の郡病院スタッフを対象にした研修を実施しました。

研修の目的としては、1)内視鏡診療における感染管理の向上、2)安心安全な基本的診断治療技術の向上、3)ネットワーク構築の3点です。事業終了後は、日本人専門家の関与がなくても研修が継続するよう指導者養成も同地域で実施しました。

## 06 ベトナム南部郡病院における消化器内視鏡サービスの改善

国立健康危機管理研究機構 国際医療協力局  
 国立国際医療センター 内視鏡センター

## 1年間の事業内容

令和7年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
<b>研修内容</b>										
<b>現地視察・ 打ち合わせ</b>		日本人 専門家 派遣4名								
<b>本邦研修</b>						研修員 7名				
<b>現地研修</b>								日本人 専門家 派遣4名 研修員 36名 指導者 養成研 修員7名		

初年度の令和7年度は、日本人専門家が現地の状況を把握すること、ベトナム側関係者が日本の内視鏡診療や体制、学会等につき学ぶことから開始しました。そして日-ベトナム双方の関係者が互いの国の状況について理解を深めたうえで、12月に第一回研修を行い、指導者養成研修と1日臨床研修を実施しました。

## 06 ベトナム南部郡病院における消化器内視鏡サービスの改善

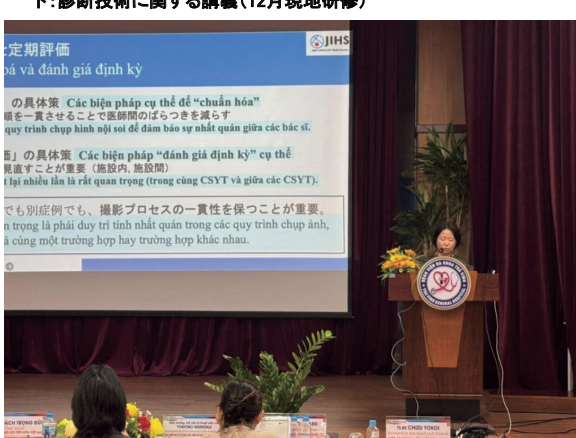
国立健康危機管理研究機構 国際医療協力局  
 国立国際医療センター 内視鏡センター



上: ベトナム郡病院の診療施設(6月訪問)  
 下: 洗浄消毒研修(12月現地研修)



上: 日本の一次医療における洗浄消毒視察(10月訪日研修)  
 下: 診断技術に関する講義(12月現地研修)



6月の現地視察では、Tra Vinh 省内の2つの郡病院の内視鏡診療現場を視察しました。視察した2病院とも、診察室は1室で、室内に検査台1台、洗浄消毒のための水場、機材、スコープ保管棚が設置されていました。

スコープの洗浄消毒は自動内視鏡再処理装置 (Automated Endoscope Reprocessor : AER) はなく、日本では「衣装ケース」として使用されているようなプラスチック製の箱を並べた水洗い場で手洗いをしていました。そこで、10月の訪日研修では、先進的な高次医療病院のみならず、日本の一次医療、二次医療施設も訪問し、施設の規模や設備が異なる状況でも安心・安全な内視鏡診療ができている視察の機会を作りました。

12月の研修では、現地の実際の環境下で診断や感染管理ができるような研修内容とすることで、現地の内視鏡医・内視鏡看護師が日々の臨床で実践できるようにしました。

内視鏡医の診断技術の研修では、講義とハンズオン、シミュレーターを用いた研修を組み合わせ、座学のみならず日本人専門家の手技を見たり、自身も手を動かして日本人専門家の指導を受けたりすることができる機会を設けました。また、感染管理研修では、プレテスト・ポストテストを実施し、研修内容の効果も測定しました。

指導者養成研修、1日臨床研修とも、活発な議論・質疑応答が行われ、研修員の意欲が確認されるとともに、研修員がどのような課題を有しているのかを日本人専門家が把握する貴重な機会になりました。

## 今年度の成果指標とその結果

	アウトプット指標	アウトカム指標	インパクト指標
実施前の計画	<b>①現地視察</b> 初年度研修内容素案が作成される。 <b>②本邦研修</b> ベトナム内視鏡学会、Tra Vinh省保健局、省病院の医療従事者・行政官計6名が視察・研修し、プレ・ポストテストの結果で80%以上の研修生の点数が改善する。 <b>③現地研修</b> ベトナム郡病院の医療従事者（医師、看護師、技師）10名に対して研修を行い、プレ・ポストテストの結果で80%以上の研修生の点数が改善する。	<b>①</b> 現地研修参加者（郡病院スタッフ）が研修で学んだ感染管理・機材モニタリング技術を各病院で毎日実施する。 <b>②</b> 本邦研修参加者が日本で学んだ制度・技術について、感染管理研修を2コース実施する。 <b>③</b> 現地研修を経て対象病院で感染管理・機材モニタリングに必要な消耗品・機材が各病院予算で購入される。また必要な人材が配置される。 <b>④</b> 感染管理のマニュアルの策定が開始される。 <b>⑤</b> 機材モニタリングのチェックリストが作成される。	ベトナム消化器内視鏡学会が国内の郡病院で実施可能な研修モジュールを整備する。（教材、講師等） Tra Vinh省内で郡病院を対象とした研修が省病院主導で定期的開催される。 Tra Vinh省内の全郡病院で感染管理・機材モニタリングに必要な機材、消耗品が購入される。また必要な人材が配置される。 Tra Vinh省内の全郡病院でチェックリストに基づくモニタリングが実施される。 Tra Vinh省内全郡病院で院内感染管理マニュアルが整備される。 Tra Vinh省内の郡病院スタッフと省病院スタッフとの連携ネットワークが構築される。 Tra Vinh省内の郡病院の内視鏡診療日、1日平均患者数が増加する。
実施後の結果	<b>①現地視察</b> 初年度研修内容素案が作成された。 <b>②本邦研修</b> ベトナム内視鏡学会、Tra Vinh省病院、郡病院の医療従事者計7名が視察・研修。プレ・ポストテスト実施なし。 <b>③現地研修</b> ・TOT研修・医師6名看護師6名 プレポスト評価（洗浄消毒研修） Pre 78%→Post 94% ・臨床研修： 講義 医師12名看護師12名 洗浄消毒研修 看護師6名 プレポスト評価（洗浄消毒研修） Pre 59%→Post 90%	<b>①</b> 本邦研修後、JHHS内視鏡センターのゾーニングマークがTra Vinh総合病院に導入された。 <b>②</b> 12月にTOT研修および一次医療施設向け研修を2研修実施。 <b>③</b> 購入なし。ただし現地研修にはオンラインバス現地法人の機材貸与があり、同社日本人・現地スタッフが研修視察し病院関係者と関係構築した。 <b>④</b> 手順書、講義用スライド2種（診断・洗浄消毒）案が開発・試行され、現在ベトナム側学会が承認した。	

この1年を通じて、4名の日本人専門家（内視鏡医2名、内視鏡技師2名）が現地の環境や医療従事者の現状・課題の把握をすることで、2年目以降の技術展開に必要なスキルを獲得しました。

ベトナム側は、全国レベルのVFDEで3名の内視鏡医、1名の内視鏡看護師が日本とTra Vinh省、双方の環境や現状・課題の把握を行い、ベトナム国内の主軸を担える準備が整いました。

Tra Vinh省内では、内視鏡医6名、看護師6名が指導者養成研修を受講し、うち内視鏡医1名、看護師1名が実際講師役を務めたことで実践経験も獲得しました。

## 今年度の対象国への事業インパクト

## 医療技術・機器の国際展開における事業インパクト

- 事業で紹介・導入し、国家計画／ガイドラインに採択された医療技術の数  
内視鏡スコープの洗浄消毒ガイドラインに準拠する手順書(案)が策定された。
- 事業で紹介・導入し、対象国の調達につながった医療機器の数  
1年目の時点でなし。

## 健康向上における事業インパクト

- 事業で育成した保健医療従事者(延べ数)
- ・ 日本で研修(講義・実習等)を受けた研修員の合計数: 7名
- ・ 対象国で研修(講義・実習等)を受けた研修員の合計数: 36名
- ・ 研修(講義・実習等)を受けた研修員の合計数: 43名
- ・ 過去に研修を受けて講師・専門家となった現地の講師・専門家の合計数: 7名

上部消化管内視鏡技術はすでに承認され、VFDEによりガイドラインも設定されています。本事業ではこのガイドラインを実際の臨床現場で実践するための手順書等の作成を進めます。

また調達は、今年度は至りませんでした。ホーチミンにあるオリンパスベトナムより機材の貸し出しや設置などで多大なるご協力を賜りました。その際、研修にご参加いただき、現地関係者におつなぎできたことで、今後の調達につながることを期待します。

## これまでの成果

## 1. 感染管理

1年目として、6名の内視鏡看護師が指導者養成研修受講。1日臨床研修も郡病院より6名の参加があった。体系的なプレ・ポストテストでスキル向上を確認し、最終的に9割以上の正答率となった。またベトナム側学会と共同でガイドラインに沿った手順書を作成し、承認まで至った。(下図)

## 2. 安心安全な基本的診断治療技術の向上

日本人専門家による講義、ハンズオンセミナーを通じて現状把握、課題の整理に至った。それらを基に2年目に取り組み内容・方向性をベトナム側と合意した。

## 3. ネットワーク構築のための研修、人材育成

第一回研修には内視鏡診療にかかわる省保健省幹部、Tra Vinh総合病院幹部、郡病院医師・看護師が一堂に会する機会となった。



## 今後の課題

## 1. 感染管理

- 研修直後の評価では高得点だったスタッフが個々の臨床現場でもその後実践ができているかの確認
- 域内の他病院のスタッフへの研修機会の提供
- 手順書の普及・活用促進

## 2. 安心安全な基本的診断治療技術の向上

- 研修参加者が個々の臨床現場でその後実践できているかの確認
- 質を担保しつつも現地の文脈に沿った実践可能な手法を研修内容に取り入れる

## 3. ネットワーク構築のための研修、人材育成

- 第二回の研修が確実に開催される支援
- 郡病院スタッフが助言を必要とした際にアクセスできる支援先の同定

その他、今年度の成果としては、洗浄消毒に関する手順書作成です。日本側でドラフトを作成し、現地で試行、VFDE関係者の監修を経てベトナムの現場で実際に活用できる内容にしました。

ネットワーク構築については、第一回研修に省の保健部門幹部に参加いただき、力強いコミットメントをいただきました。また、郡病院・省病院・現地大学病院など様々な医療施設から参加があり、研修を通じて地域の一次・二次医療施設のスタッフが交流する機会となりました。

今後の課題としては、研修で学んだ内容が各病院の臨床現場で継続的に実践されているかを確認する必要があります。また今年度作成した手順書も広く普及し、多くの医療従事者に活用されるような仕組みづくりが必要です。また、確実に次回の研修が開催されるよう事業を通じて働きかけていく予定です。

## 06 ベトナム南部郡病院における消化器内視鏡サービスの改善

国立健康危機管理研究機構 国際医療協力局  
 国立国際医療センター 内視鏡センター

## 将来の事業計画

ベトナム消化器内視鏡学会(VFDE)および郡病院を管轄する省病院が、管轄内の郡病院を支援・指導する能力の強化を図るため、下記の計画で事業を進める。

	感染管理		安心安全な基本的診断 治療技術の向上	ネットワーク構築
3年目	過去2年で養成された現地指導者による研修の実施	手順書の活用状況確認  対象地域外への普及	診断に必要な画像撮影に関する教材・手順書の普及  過去2年で養成された指導者による研修の実施	第3回研修実施  今後の研修実施体制・方針の確認  対象地域における郡病院スタッフ向け支援ネットワーク構築
2年目	研修参加者の臨床現場訪問による定着状況の把握  指導者養成・1日臨床研修	対象地域内に出の手順書普及（普及ツール作成・普及媒体の同定）	研修参加者の臨床現場訪問による定着状況の把握  診断に必要な画像撮影に関する教材・手順書等策定  指導者養成・1日臨床研修（日本人医師によるハンズオン含む）	第2回研修実施  研修参加者の交流促進・支援アクセス先同定
1年目	研修モジュール策定・試行	手順書ドラフト作成・試行	現地の内視鏡診療の状況把握・課題の整理 日本人医師によるハンズオン研修	第1回研修実施

2年目は、1年目の研修員が自らの病院で日々実践できているのかを確認し、定着状況を把握します。それを踏まえ、必要に応じて修正した研修モジュールで第二回研修を開催する予定です。

また、洗浄消毒手順書の普及の仕組みづくりとともに、ベトナム側主導で診断に必要な画像撮影に関する教材、または手順書を作成する予定です。

最終年では、研修は要請された現地の指導者を主力とし、事業終了後も継続できるようにします。作成された手順書や教材も省内で確実に普及されること、またVFDEの活動を通じて全国に広まることまで目指す予定です。